



2016. 9月第574号

発行所 アシュラムセンター
523-0894 近江八幡市中村町 567-2
Tel 0748-33-4030
Fax 0748-33-8856

榎本 恵 主幹牧師宅
523-0877 近江八幡市池田町 5丁目 21-2
Tel & Fax 0748-26-7469

編集 アシュラム誌編集委員会

振替 01050-6-53772
アシュラムセンター

印刷 明文舎印刷商事(株)

解題

アシュラムとはインドの言葉で「退修」という意味で、スタンレー・ジョーンズ博士によって日本に紹介されたものであります。祈りの生活をもって事前に自らを整え、今日に於ける主のご委託にこたえんというのがその願いです。

主イエスは、自分たちの中でだれが一番偉いのかと道中議論しあっていた弟子たちの真ん中に一人の幼子を立たせ、その子を抱きかかえて、こう言われた。「わたしの名のためにこのような子供の一人を受け入れる者は、わたしを受け入れるのである。わたしを受け入れる者は、わたしではなくて、わたしをお遣わしになった方を受け入れるのである。」(マルコ9:37)

今回与えられたみ言葉

「自分自身の内に塩を持ちなさい。そして、互いに平和に過ごしなさい。」(マルコ9:50)は、この出来事の中で主が語られた最後の言葉である。シユラッターという神学者は、この箇所

瞑想

自分自身の内に塩を持ちなさい。そして、互いに平和に過ごしなさい。

主幹牧師 榎本 恵

マルコ9:50

「目には目を、歯に歯を」の戦いもやむを得ずと怒りに燃え、同時に見えない敵の報復に怯える。今この世界を覆っている空気は、こんなものではないだろうか。私たちは皆、だれよりも偉い者、強い者、賢い者になろうとして、自らの内の塩を失ってしまったのか。塩気を失った塩は、どうやってその味を取り戻せば良いのか。そんな問いかけを、私はこの聖書のみ言葉から聞いた。

前述のシユラッターは、「私たちがこの塩を自分たちに保つのは、すべての悪を誠実に拒絶し、忠実に目を覚まして悔改めにとどまり、邪悪なことには何一つかかわらず、私たちの生活を罪深いものに結びつかせないこと」と言う。そもそもスト者が持つべき最も基本的な徳目なのではないだろうか。しかもそれは、ただの「徳目」ではない。「火で塩味をつけられる」(マルコ9:49)塩なのだ。燃え盛る火をくぐり抜けてきた「信仰」、「希望」、「愛」、「清潔」、「正義」、「謙虚」。聖霊の火は、いつも私たちの手垢のついたままのキリスト者としての徳目を、本物にしてくれるのだ。それは時に、焼かれるほどの痛みを伴うだろうし、また、世の無理解のうちに、自身でも信じることができず、放棄したくなることも常である。けれども、その火で味の付けられた塩を持つことこそが、真の平和を実現するものだと私は固く信じる。

友よ、もしあなたが、見せかけの愛や、独善的正義、偽物の清潔や仮面をかぶった謙虚さが世界を席卷しているように感じているなら、今一度聖霊の火を求めよう。自分の中に火で味付けされた塩味を取り戻そう。それこそが平和を造り出していくのだから。



果、初参加6名を含み35名の出席でした。体調に不安を抱えながらも是非出席したい、また友を誘って一緒に出席しますなど、アシラムの仲間の熱い思いが伝わって、祈り祈られることによって支えられていると実感しま

した。しかし、思わぬことが起るものです。最終の事務的な準備に入る間際になって、問題が次々生じ、働きの人がいない現実には悩む事態に陥りました。その時、アシラムで教えられている、「何故ですか?」と問わずに、「何のためですか?」と問いなさいが浮かびました。そしてその意味の深さにハッとさせられました。もうアシラムは始まっていたのです。準備の時から主の前に引き出され、私自身にお語り下さる主の全能に改めて目が開かれる日々になりました。主題聖句は「主はわたしの力、わたしの救いとなつて下さった」(出エジプト記15:2)でした。

私は本当に喜びの声をあげている

だろうか? 神を信じることが出来ない自分に気が付きました。私は自分中心の考えを優先する思いを悔い改めて、十字架の愛で乗り越えさせて下さいと祈りました。真にイエスは私の主です。主は困って、弱っている私を憐れんで下さり、助け手を送って下さいました。

六月七日、当日は私の誕生日でアシラムセンターからのバースデイカードを手渡しで受け取りました。カードには「主はわたしの歌」と書かれており、喜びの感謝が溢れて来ました。

午後のプログラムの榎本和子夫人のお話しに心惹きつけられ、神様から来る九十歳の輝きに励ましをいただきました。遠く近江八幡から来て下さって本当にありがとうございます。

その週の土曜日、六月十一日に藤井弘牧師が天に召されました。

葬儀は札幌アシラムと同じ北海道クリスチャンセンターで執り行われました。先生は三十年に渡って札幌アシラムを支えて下さいました。主イエス様のご臨在に生かされる説教を下され、独特の語り口で、「日々イエス様とダンスをする」という表現は忘れられません。先生が伝

念願の「沖繩平和巡礼の旅」にて

井上 正子
水平線で仕切られた空と海の青

そして白い砂浜
なんと明るく美しい島—沖繩—なのだろう

しかし、この沖繩が凄惨な戦場だったとは。

私達は、荷物を預けすぐ戦跡巡りに出発した。さわわ、さわわと揺れるさとうきび畑をあちこちに見ながら細い農道を縫って辿り着

えて下さったみ言葉に今回もずいぶん力をいただきました。「見よ、新しいことをわたしは行う。今や、それは芽生えている。あなたたちはそれを悟らないのか。わたしは荒野に道を敷き、砂漠に大河を流れさせる。(イザヤ書43:19)」
(日本福音ルーテル 札幌教会)

いた小高い丘。鬱葱とした木立。傍目には何かあるかわからない。そこには、草が生え、落葉に埋もれそうな塚があった。人、一人が這うよう縮こまって入れるぐらいの暗い小さな入口。

左の太木の下に苔筵した

「陸軍病院第二外科壕之跡」の刻碑があった。清掃をしながら當時を偲び胸に込み上げてくるものがあり言葉



井伊文子さん書、「ぬちどうたから」の前で。今年、沖縄の「うーとーとー」と「ぶくぶく茶」も体験!! (第二外科壕清掃後)

道府県別に御影石の碑面に刻銘されていた。多くの若い人達が黙々と準備を進めている。そんな中を遺族が花束、手料理、泡盛を供え静かに祈って居られる。沖縄戦の記憶を過去のものとしないで終わらせたい強い覚悟の

「怒りは、憎

理事長の謝花悦子氏の言葉。伊江島阿波根昌鴻氏の御子息、昌健さんの名が刻まれている所にて。祈りを捧ぐ。



伊江島阿波根昌鴻氏の御子息、昌健さんの名が刻まれている所にて。祈りを捧ぐ。

も出なかつた。この大木は凄惨な悲劇を目撃しただろうか。戦跡を巡り気付いたことは、町に慰霊の塔が多いことだ。健児の塔もあり、その横の地下壕に降りようとしたり入口は真つ暗で蔓草が生い茂りかなわなかつた。訪れる人もないのだろうか。心が痛んだ。

平和の礎。世界の恒久平和を願った20万人を超える国内外全ての人の氏名が都

「あらゆる地獄を詰め込んだ戦場だったのが伊江島だ」と。この地のヌチドゥタカラの家、反戦平和資料館で、戦中、戦後収集された資料を見ながら歴史の真実とその重味を覚えたが伝え切れない。

しみとなつてい。憎しみをどうすれば。と苦闘する姿を見せられた。普天間基地、辺野古の問題、「命どう宝」、平和の重味、沖縄の痛みに無神経であつてはならない、と。沖縄の苦しみを共感できる中味の重い旅でした。沖縄アシラムでの言葉「勝利とは、自分に勝つことだ」榎本牧師主にある真の平和を祈りつつ。この旅に関わった皆様、心から感謝申し上げます。在主席大浜キリスト教会



佐喜真美術館にて

あとがき

オリンピック日本選手の活躍に日々目の離せない毎日。ブラジルの時差は、日本と真逆です。テレビで映るリオの町並みを見ると、ブラジルアシラムの友を思います。来年、2月には再びブラジルへ行くこととなりました。来年は、榎本保郎牧師召天より40年の年を迎えます。アシラム運動は、その最初の時から、台湾、北米、ブラジルへの広がりを感じてきました。どうか、これからも、私たちの寝ている時に起き、異なった言語、文化の中で生活しておられるアシラムの友を覚え、祈りあつて参りましょう。それが40年の間、マケドニアの祈りに答えてきたアシラムセンターの大切な業なのです。(恵)



第二外科壕清掃活動、約30年の恵牧師

9月のアシュラムなど		
2(金)	阪神ミニアシュラム(主恩教会 PM 1:00) 奉仕者 榎本恵師	0748-33-4030 アシュラムセンター
8(木)	常任運営委員会 (アシュラムセンター)	0748-33-4030 アシュラムセンター
12(月)	福岡聖書教室 (博多クリオコートホテル PM 1:00) 奉仕者 榎本恵師	092-607-8251 樋口栄子姉
17(土)	広野祈りの家(兵庫・三木市志染町 PM 1:00) 奉仕者 榎本恵師	0794-85-1147 猪瀬和子姉
18(日)	ちいしば牧師記念チャペルタ礼拝・愛餐会 (PM 5:00) 奉仕者 榎本恵師	0748-33-4030 アシュラムセンター
19(月)	鹿児島アシュラム 奉仕者 大門義和師	099-254-3024 鹿児島アシュラム実行委員会
19(月) 20(火)	京都桃山アシュラム(関西セミナーハウス) 奉仕者 榎本栄次師	090-9250-0129 米澤敏子姉
19(月) 20(火)	童子ヶ沢・河辺アシュラム(河辺家の教会) 奉仕者 村瀬俊夫師	018-846-0876 小林三夫兄
20(火)	大阪聖書教室 (大阪クリスチャンセンター AM10:30) 奉仕者 榎本恵師	0748-33-4030 アシュラムセンター
21(水)	カフェちいしば聖書入門講座 (京都・伏見区深草 PM 1:30) 奉仕者 榎本恵師	075-643-2476 みんなのカフェちいしば
23(金)	センター聖書教室 (アシュラムセンター AM11:00) 奉仕者 榎本恵師	0748-33-4030 アシュラムセンター
22(木) 24(土)	第41回京浜アシュラム(イエズス会霊性センター) 奉仕者 加々美要師	042-373-2577 本田英一師
26(月) 27(火)	日光オーリーブの里アシュラム(日光オーリーブの里) 奉仕者 榎本恵師	0748-33-4030 アシュラムセンター
27(火) 28(水)	アジア学院訪問(自由参加)	参加者募集中!

2016年10月のアシュラム予定		
山陰アシュラム		
日時	10月3~4日(月~火)	場所 シャトーおだか
奉仕	村瀬俊夫師	申し込み 宮脇弘師 0859-45-3663
新潟一泊アシュラム		
日時	10月7~8日(金~土)	場所 メイフサンピア
奉仕	榎本恵師	申し込み 吉澤昭男兄 0250-23-2697
福島浜通りアシュラム		
日時	10月10日(月)	場所 原町聖書教会
奉仕	村瀬俊夫師	申し込み 石黒實師 0244-23-1202
第6回 岩松アシュラム		
日時	10月10日(月)	場所 岩松教会
奉仕	寺尾雅生師	申し込み 新垣達也師 0895-32-2114
北陸・富山アシュラム		
日時	10月14~15日(金~土)	
場所	インテック大山研修センター	奉仕 村瀬俊夫師
申し込み	高山美津江姉	0765-54-3548
第16回 愛知一泊アシュラム		
日時	10月28~29日(金~土)	
場所	南山学園研修センター	奉仕 村瀬俊夫師
申し込み	溝口勝幸兄	0562-47-0528

2016年11月以降のアシュラム予定	
11月1~2日	札幌アシュラム
11月10~12日	阪神アシュラム
2017年1月26~28日	第42回年頭アシュラム

みことば

岡山聖書集会(無教会)
香西 信

「ことばの意味を開く(6)」

弱い私たちは、一度悔い改めて、イエスさまの方に向き直っても、舌の根の乾かないうちに罪を犯してしまいます。けれどもイエスさまは、私たちのあやまちを何度でも何度でもゆるしてくださいます。何度失敗しても再びやり直すチャンスを与えてくださる方です。

宗教改革をしたルターは言いました。「私たちの全生涯が悔い改めなんだ。」私たちは日々新しく生き始めることができるのです。

使徒パウロは、イエスさまの逮捕の後に、鶏が鳴く前に、知らないと三度否認して、最愛の主を裏切ります。その後、彼は自分の裏切りに愕然として、激しく涙を流し続けます。

そのようなペトロですが、復活のイエスさまによって罪を赦され、悔い改めます。そして使徒の中心として獅子奮迅の活躍をした様子は、使徒言行録に詳述されています。

また、中世ヨーロッパで民衆に広く読まれていたペトロ行伝には次のような記事があります。

「また、ペトロは、いつでも一枚の布を胸に入れていて、しょっちゅうあふれでる涙をぬぐったということである。というのは、主のやさしいお言葉と主のおそばにいたときのことを思い出すと大きな愛の気持ちから涙をおさえることができなかつたからである。さらに、自分が主を否認したことを思い起こすたびに激しく嗚咽した。そのようによく泣いたので、彼の顔は泣きぬれてたかれたようであった、と聖クレメンスは記している。クレメンスはまた、ペトロは暗いうちににわたりの鳴き声とともに起きて祈り、それからいつもはげしく泣いていたと伝えられている。」

ヨーロッパでは、教会の屋根の上に鶏が置かれています。日本では十字架が教会のシンボルですが、ヨーロッパでは鶏です。神さまの前に悔い改めることができること。それは本当に恵みだと思えます。感謝です。